

ふらたなす

平成 30 年度 全国学力学習状況調査の結果より

【国語】

本校の概要

主として「知識」に関する問題(A)

- 「話すこと・聞くこと」**
- ◆全国平均に比べ、上回っている
- 「書くこと」**
- ◆全国平均に比べ、上回っている
- 「読むこと」**
- ◆全国平均に比べ、上回っている
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」**
- ◆全国平均に比べ、下回っている

主として「活用」に関する問題(B)

- 「話すこと・聞くこと」**
- ◆全国平均に比べ、上回っている
- 「書くこと」**
- ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている
- 「読むこと」**
- ◆全国平均に比べ、下回っている

今回の調査における課題

- ◆相手や場面に応じて適切に敬語を使うこと
- ◆学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく使うこと
- ◆目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考えたり、内容の中心を明確にして詳しく書いたりすること
- ◆目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと

改善の方向

- ◆日常生活の中で、相手と自分との関係を意識しながら敬語を使うことを意識したり、目的に応じて手紙を書いたりする指導の充実。
- ◆既習の漢字を意図的に復習するとともに、国語だけでなく、他の教科や日常生活の中でも読んだり、書いたりする機会を増やしていき、文章を書く際には漢字のもつ意味を考えながら正しく使うことができるようにする指導の充実。
- ◆目的や意図に合う事例をあげることで、自分の考えを具体化したり、相手の意図を汲み取っているか判断したり、必要な情報を収集し、適切に関連付けて書いたりする活動の充実。
- ◆目的に応じて適切な本や資料を選んだり、効果的な読み方をしたりする。また、自分の知識や経験、考えなどと関連付け、自分の考えをまとめていく活動の充実。

生活習慣や学習環境に関する質問紙における本校児童の特徴

- 「学校の授業以外に1日にどれだけ学習をしていますか」の設問に対し、「1時間以上」と回答した児童が全国平均を大きく上回っている。
- 「自分で計画を立てて勉強をしている」「家で学校の予習・復習をしている」という設問に対し、「している」「どちらかといえばしている」と回答した児童が全国平均を大きく上回っている。
- 「自分には、よいところがあると思う」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」の設問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童が全国平均を大きく上回っている。
- 「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたいと思う」の設問に対し、「当てはまる」「どちらかという当てはまる」と答えた児童が全国平均を上回っている。
- 「毎日、同じくらいの時刻に寝る・起きる」の設問に対し、「あまりしていない」「全くしていない」と答えた児童の割合が全国平均よりやや高くなっている。

【算数】

本校の概要

主として「知識」に関する問題(A)

「数と計算」

- ◆全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。

「量と測定」

- ◆全国平均に比べ、下回っている。

「図形」

- ◆全国平均に比べ、下回っている。

「数量関係」

- ◆全国平均に比べ、下回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

「数と計算」

- ◆全国平均を下回っている。

「量と測定」

- ◆全国平均とほぼ同程度であるがやや下回っている。

「図形」

- ◆全国平均を上回っている。

「数量関係」

- ◆全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。

今回の調査における課題

- ◆単位量あたりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解できるようにすること

- ◆180°や 360°を基に分度器を用いて、180°よりも大きい角の大きさを求めることができること

- ◆折れ線グラフから変化の特徴を読み取ることができること

- ◆示された考えを解釈し、条件を変更して考察した数量の関係を、表現方法を適用して記述できること

- ◆折り紙の枚数が100枚あれば足りる理由を、示された数量を関連付け根拠を明確にして記述できること

- ◆折り紙の輪の色の規則性を解釈し、それを基に条件に合う色を判断することができること

改善の方向

- ◆量的感覚を養うために、予想したり、実際の物体を使ったりして考えていく指導の充実

- ◆実際に用具を用いて、測定する際に、大きさを予測したり、測定の方法について検討したりする活動の充実

- ◆日常生活の場面から問題を見出し、課題を解決していくために必要な情報を収集し、目的に応じて表やグラフを用いて表したり、適切な判断をしたりすることができるような指導の充実

- ◆問題場面における数量の関係を帰納的に考察し、見出した数量の関係を式で表現する活動の充実

- ◆求め方の前提となる考えや理由などの根拠を、図などを使い順序良く対応付けて説明する活動の充実

【理科】

「物質」

- ◆全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。

「エネルギー」

- ◆全国平均を上回っている。

「生命」

- ◆全国平均を上回っている。

「地球」

- ◆全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。

- ◆物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを、食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用できること

- ◆より妥当な考えをつくりだすために、複数の情報を関連付けながら、分析して考察できること

- ◆既習の内容や生活経験と関連付けて話し合うなど、自然の事物・現象を捉えられるような活動の充実

- ◆根拠をもって自分の考えをもち、理由を添えて伝えたり、記述したりする学習活動の充実

本校では以下の取組を大切にしていきます

○「できる」「わかる」学習

- ・ T T・少人数指導の充実・・・ T T担当教諭とともに行うきめ細やかな指導、個に応じた少人数の学習グループの構成。
- ・ 必要感のある学びの重視・・・「学びたい」「やってみたい」「なぜだろう」という学ぶ意欲を大事にします。
- ・ 朝活動の活用・・・国語・算数を中心に、基礎・基本の定着、既習事項の定着。

○「学んだことを活かす」学習

- ・ 問題解決的な学習・・・問題を解決する学習を大切に、学んだことを活かす力を伸ばします。
- ・ 学び合い・・・他者と考えを伝え合う学習を重視し、新たな考えをもちたり、自分の考えを整理したりする力を育てます。また、学級全体での交流の他に、目的に応じてグループやペアでの交流も行います。
- ・ 学びを生活に生かす・・・学習したことを、実生活の場で活かせる特別活動（行事・委員会・クラブ・係活動等）を充実させていきます。

◆ご家庭へのお願い

- ・ 基本的な生活習慣・リズムの定着・・・子どもたちの心と身体にとって良いだけでなく、学習への集中力や意欲に大きくつながります。
- ・ 宿題・家庭学習へのサポート・・・学年の発達段階や子どもの実態に応じて、宿題や家庭学習を行っています。札幌市教育委員会から配付された「学びのススメ」を今一度ご覧になり、お子さんの学びの自立に向けあたたかいお声かけをしていただけるようお願いいたします。